

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	HER2 陽性転移再発乳癌における late line での Bevacizumab 投与の検討
	研究対象者	HER2 陽性転移再発乳癌と診断された患者さんのうち、2014 年 1 月から 2022 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで Bevacizumab+Paclitaxel 治療を受けられた方
	研究目的	HER2 陽性乳癌において、近年 Trastuzumab-deruxtecan (T-DXd) が新規承認され、予後は長期化が期待されるようになりました。T-DXd 使用後の治療について現在エビデンスはなく、今後種々の治療に関してデータの蓄積が必要です。Bevericizumab+Paclitaxel (Bev+PTX) 療法は、HER2 陰性転移再発乳癌の Life threatening 症例に主に使用されますが、実臨床では HER2 陽性乳癌に対して使用されることもあります。今回我々は、当院での HER2 陽性転移再発乳癌における late line での Bev+PTX 療法に関して、その治療効果を検討します。
	研究方法	電子カルテに記載されている情報を元に、これまでの治療歴等を含め、当該治療による治療効果・副作用について検討します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 12 日～西暦 2023 年 7 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック [X]が入った項目を利用します)	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[x]情報:	[x]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[x]年齢、[x]性別、 [x]既往歴、[x]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[x]臨床検査値、 [x]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [x]臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[]看護記録 []その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	乳腺外科・岡本咲
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・乳腺外科・岡本咲・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023 年 6 月 28 日までお願いいたします	